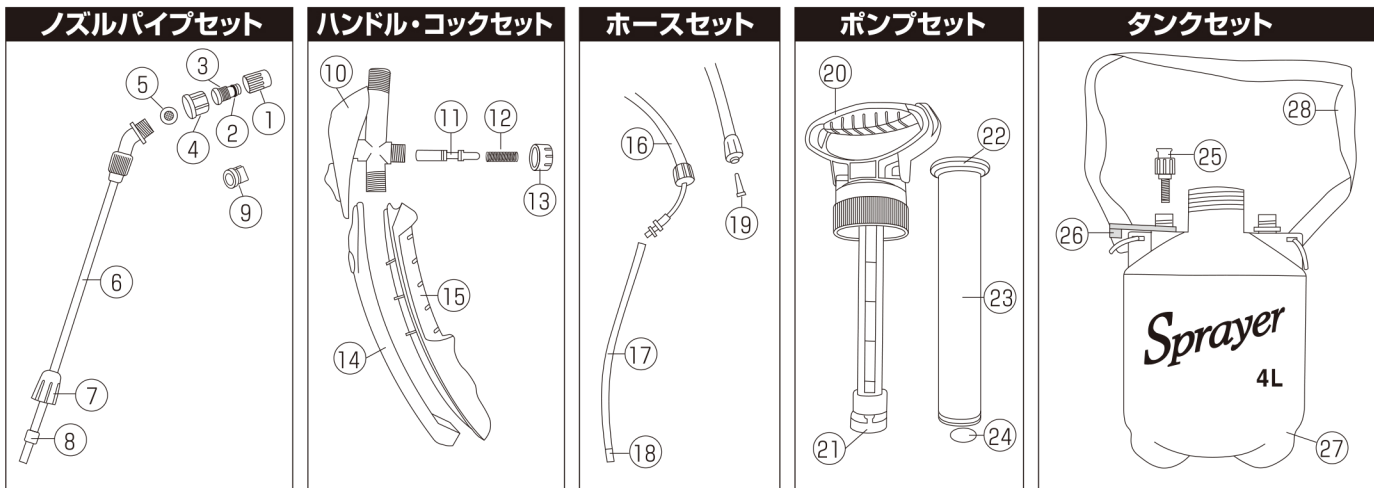


■故障かなと思ったら

症状	考えられる原因	処置
●ポンプハンドルの動きが悪い	▶ ポンプパッキン⑳の油切れ	▶ ポンプパッキン⑳にミシンオイルか機械油を少量塗布する
●圧力がかからない	▶ ネジ部より空気が漏れる ㉑㉒㉓パッキンの劣化	▶ 各ネジ部を締め付ける ▶ 新品と交換する
●噴霧の出が悪い	▶ 加圧不足 ▶ ネジ部より空気が漏れる ①⑤⑱のゴミ詰まり	▶ 加圧する ▶ 各ネジ部を締め付ける ▶ 掃除する
●液が止まらない	▶ コックのゴミ詰まり ▶ コックのパッキンの劣化、老化	▶ 掃除する ▶ レバーコックを交換する
●安全弁の動きが悪い	▶ ゴミ詰まり等	▶ 安全弁㉔を交換する

お問い合わせ、修理のご相談及び部品の注意等はお買い上げの販売店にご相談ください。

■分解図



■パーツリスト

セット	No.	部 品 名	セット	No.	部 品 名	セット	No.	部 品 名
ノズルパイプセット	①	噴口キャップ	ハンドル・コックセット	⑩	コック	ポンプセット	㉑	ポンプハンドル
	②	噴口パッキン		⑪	コック弁		㉒	ポンプパッキン
	③	噴口アダプター		⑫	コックスプリング		㉓	シリンダーパッキン
	④	アダプターキャップ		⑬	コックキャップ		㉔	シリンダー
	⑤	噴口ストレーナー		⑭	ハンドル上		㉕	弁パッキン
	⑥	ノズルパイプ		⑮	ハンドル下	タンクセット	㉖	安全弁
	⑦	アジャストナット	ホースセット	⑯	ホース・キャップ		㉗	パイプホルダー
	⑧	パイプパッキン		⑰	吸水ホース		㉘	タンク
	⑨	除草剤用噴口(付属品)		⑱	ゴミよけストレーナー		㉙	バンド
				㉚	ホースソケット			

発売元

藤原産業株式会社

兵庫県三木市福井2115-1 TEL.0794-86-8203

※商品の仕様は改良の為予告なく変更することがあります。

材 質

- 本体・ノズル……ポリプロピレン
- タンク……ポリエチレン
- ホース……軟化ビニール
- ノズルパイプ……グラスファイバー

E-Value

SAS-4000N

蓄圧式噴霧器4L

取扱説明書

この度はお買い求めいただきありがとうございます。ご使用前に必ずこの取り扱い説明書をよくお読みください。

お読みになった後は大切に保管し、次回ご使用時に読み返してください。

■用途

- 庭木、草花の消毒や殺虫の為の薬液の散布
- 庭木、草花への散水
- 庭木、草花への肥料液等の散布

安全上及び使用上の注意事項の表示

- ⚠ **警 告** : 守らないと重大事故を起こす恐れのある項目
- ⚠ **注 意** : 守らないと負傷事故を起こす恐れのある項目

⚠ **警 告** : 表示用途以外に使用しないでください

使用前

- 表示用途以外に使用する液体（酸性薬品、ガソリン、シンナー、灯油、ベンジン、塗料等）は絶対に使用しないでください。
- 薬液の調合、希釈は農薬の使用上の注意をよく読み正しくお使いください。
- 40℃以上の温水を入れたり、火や高熱のそばに置かないでください。
- 本体及び各部品にヒビや欠け、割れの無い事を確認してください。もしあれば使用を中止してください。
- 農薬を吸い込んだり、付着したりする事故を防ぐため、皮膚を露出せず危険のない服装で保護マスク、ゴム手袋、ゴム長靴等を着用してください。

使用中

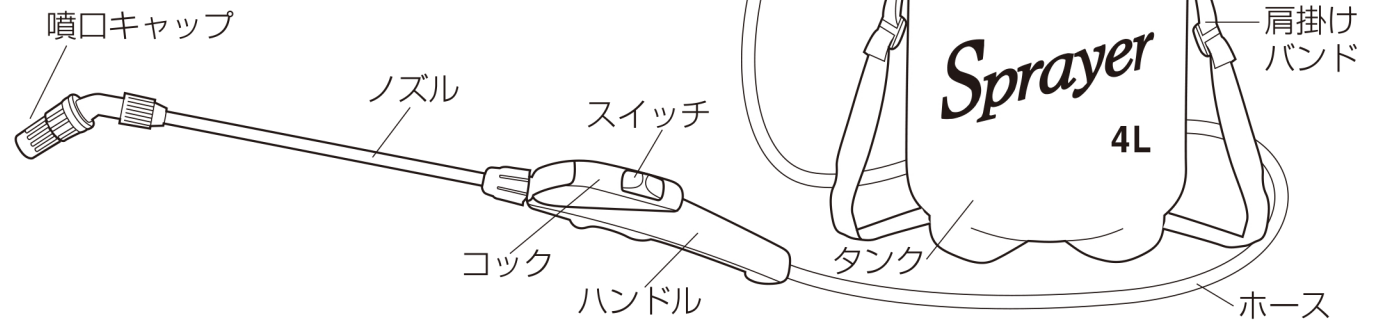
- 周囲の人や散布対象物以外の物に薬液がかからないよう注意してください。
- 周囲の水系を汚染しないように注意してください。
- 加圧した状態で長い時間放置しないでください。
- 加圧する時はレバーがロックされていない事を確認してください。
- ハウス内等では換気しながら作業してください。
- 作業中、体調や気分が悪くなった時は直ちに作業を中止してください。

使用后

- 作業が終わりましたら、すぐに圧力を抜いてください。加圧した状態で絶対に放置しないでください。
- ポンプキャップ等をはずす際は、必ずタンク内の圧力を先に抜いてください。
- 全身をよく洗い、目の洗浄とうがいをしてください。
- タンクホース内・ノズル内の薬液はきれいに洗い流してください。次回使用時に他の薬液と混ざらないようにしてください。
- よく洗浄してから直射日光の当たらない高温多湿の場所を避けて子供の手の届かない所へ保管してください。

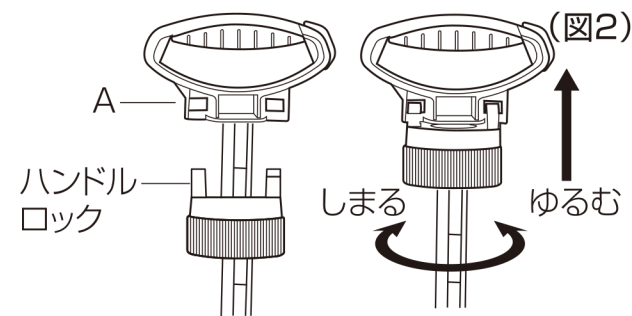
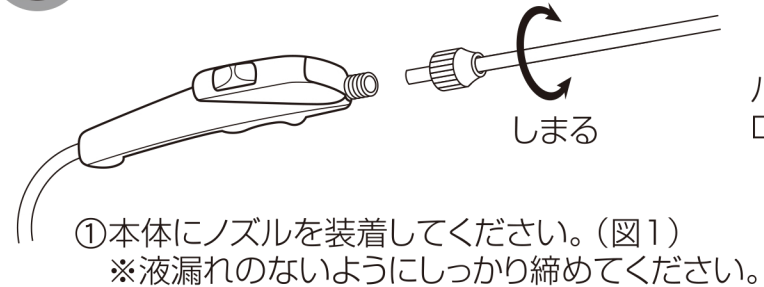
各部の名称

仕様
蓄圧式タンク容量:4L
ノズル:30cm
噴霧目安[霧]約1m
噴霧目安[直射]約6.5m
安全弁作動圧力約0.3Mpa
重量(タンク空):約1.1kg



使用方法

1 ノズルを組み立てる



ポンプキャップをゆるめる場合
ハンドルロックにハンドルのA部を
ひっかけハンドルを左に回してゆる
めて(外して)ください。

2 薬液をタンクに入れてください

⚠ 注 意 タンク内に前回使用時の薬液等が残っていないことを確認してください。

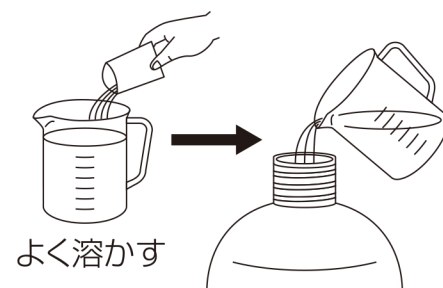
②-1 ●(図2)のようにポンプハンドルをポンプキャップのハンドルロックにひっかけ左に回して外してください。

②-2 ●薬液をこぼれないようにタンクに入れてください。

⚠ 注 意 タンクの上限以上には薬液を入れないでください。

⚠ 注 意 薬液は別の容器で調合してからタンクに入れてください。

②-3 ●ハンドルを右に回してポンプキャップを
しっかりと締めてタンクに取り付けてください。



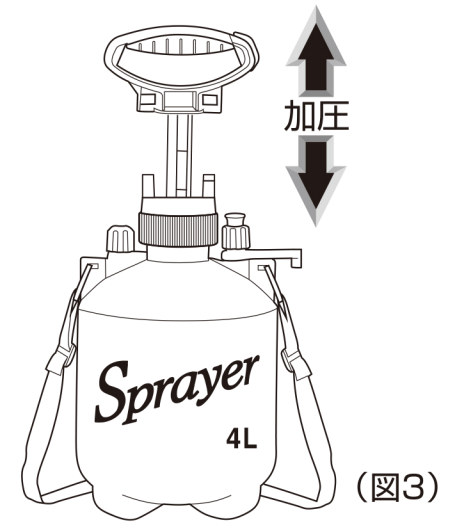
3 加圧してください

③-1 ●レバーをロックされていない状態にしてください。

③-2 ●ハンドルロックからハンドルを外し、ハンドルを上下させて加圧してください。(図3)

※加圧はハンドルを上下させる力がある程度重くなってくれば止めてください。目安は空気圧が0の場合、約35~40回位です。

③-3 ●ハンドルをハンドルロックにひっかけ固定してください。



4 散布してください

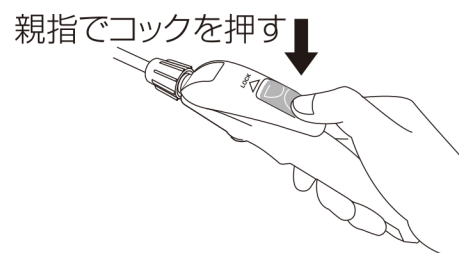
⚠ 注 意 各部の取り付けナットの締め付けがしっかりとされていることを確認してください。

⚠ 注 意 周囲の人や散布対象物以外の物に薬液がかからないように注意してください。

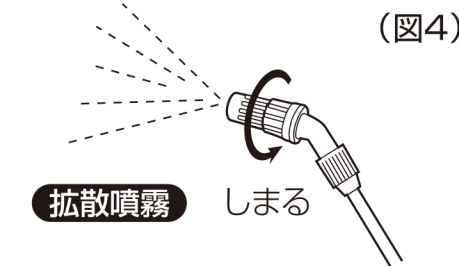
④-1 ●(図4)を参考に散布作業してください。

※散布の勢いが弱くなれば再び加圧してください。

断続散布するには (図4)



広範囲に散布する時には (図4)



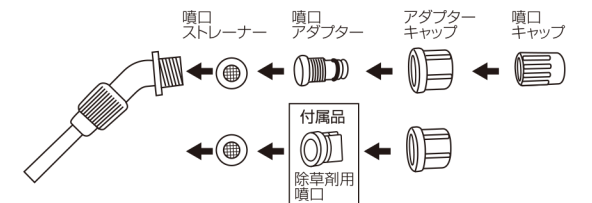
連続散布するには (図4)



一定の角度から遠方へ散布する時には (図4)



※噴口キャップ・アダプターを外して
付属の除草剤ノズルへの付け替えが可能です。



使用後

⚠ 警 告 ポンプキャップをはずす前に必ず先にタンク内の圧力を抜き取ってください。

⑤-1 ●タンクを立てて置いた状態で安全弁の押えを引き上げ圧力を完全に抜き取ってください。

⚠ 警 告 加圧した状態で放置しないでください。
破裂する恐れがあります。

⑤-2 ●ポンプキャップを外し、タンク内に残った薬液をきれいに洗い流してください。

⑤-3 ●直射日光の当たらない高温多湿の場所を避けて子供の手の届かない所で保管してください。

